

年度 2007 学期 後期	曜日・校時 金 2	必修選択	必修	単位数 1
授業科目/(英語名)	英語コミュニケーション II English Communication II			
対象年次 1年次	講義形態 演習	教室		
対象学生(クラス等) D16,17	科目分類 外国語科目(英語)			
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスパワー 担当教員: 小笠原真司 / Eメールアドレス: ogasa-s@nagasaki-u.ac.jp / 研究室: 教育学部 6階 618 /オフィスパワー: 水4 火3				
担当教員(オムニバス科目等)				
<p>授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標</p> <p>授業のねらい: 英語のコミュニケーション活動がスムーズにできるように、基礎的な発音やリズム練習を行います。さらに、リスニング戦略に基づいたトレーニングを行い、リスニングの力をつけるとともに、リピーティングを用いた構文練習を行い、自信を持って英語を発信できるようにします。</p> <p>授業方法: 演習形式で行います。指定されたテキストは、決められた範囲を予習しておくことが必要です。家庭でテキスト付属のCDを利用して、十分練習してくることを要求します。また、2~3回、プレゼンテーション用の英文の原稿を書いてもらい、ペアやグループでの英語によるスピーチ練習をします。</p> <p>授業到達目標: テキストの中の重要な英語の構文は、すべて覚えて頭の中に内在化、自然と発話できるレベルまでにします。英会話レベルを超えて、少し長いレベルの英語も発話できるようにします。また、基本的なリスニング戦略を身につけてもらい、簡単な英語ニュースや映画なら、内容の概要を聞き取れるようにします。また、簡単なプレゼンテーションを自信をもって英語でスピーチできるようにします。</p>				
<p>授業内容(概要)/授業内容(毎週毎の授業内容を含む)</p> <p>授業内容(概要)</p> <p>毎回、授業の最初には、テキストを用いて、話すための大切な英語構文を整理しながら CD を用いて、基本的な英語例文を聞いて、英語を繰り返す練習を行います。これは、リピーティング練習といい、英語の構文を内在化するには効果的な練習方法です。この練習に続き、リスニング戦略に基づき、リスニング用のプリント教材や英語の歌を用いて、リスニングのトレーニングを行います。さらに、応用練習として、ペアやグループになってもらい、課題として作成するプレゼンテーション用の原稿を用いてのスピーチ練習を行います。もちろん、この原稿を書くための指導も行います。</p> <p>この英語の授業に関しては、決して受身的な態度で授業に参加しないでください。授業の効果を上げるためにも、学生は極力欠席を避け、積極的に授業に参加してください。毎回、課題がでますので、なによりも家庭学習をきちんとすることを要求します。学生の積極的な取り組みを期待します。必ず英語の力は向上します。がんばってください。</p>				
<p>第1回 オリエンテーション、リピーティング練習の体験 英語事前実力テスト</p> <p>第2回 テキスト 発音・リズム練習1 基礎リスニングトレーニング1</p> <p>第3回 テキスト 発音・リズム練習2 基礎リスニングトレーニング2</p> <p>第4回 テキスト 発音・リズム練習3 基礎リスニングトレーニング3</p> <p>第5回 テキスト リピーティング練習1 疑問文と機能・場面1 スピーチ練習課題 A</p> <p>第6回 テキスト リピーティング練習2 疑問文と機能・場面2 スピーチ練習課題 A</p> <p>第7回 テキスト リピーティング練習3 疑問文と機能・場面3 スピーチ練習課題 A</p> <p>第8回 テキスト リピーティング練習4 疑問詞・接続詞が導く名詞節1 スピーチ練習課題 A</p> <p>第9回 テキスト リピーティング練習5 疑問詞・接続詞が導く名詞節2 スピーチ練習課題 A</p> <p>第10回 テキスト リピーティング練習6 疑問詞・接続詞が導く名詞節3 スピーチ練習課題 B</p> <p>第11回 テキスト リピーティング練習7 助動詞を用いた表現1 スピーチ練習課題 B</p> <p>第12回 テキスト リピーティング練習8 助動詞を用いた表現2 スピーチ練習課題 B</p> <p>第13回 テキスト リピーティング練習9 助動詞を用いた表現3 スピーチ練習課題 B</p> <p>第14回 テキスト リピーティング練習10 比較表現 英語リスニングテスト</p> <p>第15回 定期試験</p>				
キーワード				
教科書・教材・参考書	<p>教材: 英語リスニングテスト(JACET 中級) 計 1,000 円(第1回目の授業時に徴収します)</p> <p>教科書(テキスト): リピーティングで学ぶ話すための基本構文 (Kinseido) 1,950 円 (第1回目の授業時に教室にて販売します)</p> <p>教材: リスニング教材1~8 プリントにて毎回配布します。</p>			
成績評価の方法・基準等	<p>成績評価は、定期考査 60%、課題提出 20%、毎回のリピーティング練習評価 20%で行います。課題提出は、書いてもらった英文の内容を評価するので、ただ出せばよいという考えは捨ててください。また毎回のリピーティング練習評価は、14回の総合評価ですが、毎回必ず当たりますから、毎回きちんと練習していただくこと。</p>			
受講要件(履修条件)				
本科目の位置づけ/学習・教育目標				
備考(準備学習等)				